

平成28年度

地域密着型金融の取組

中小企業の経営支援に関する取組状況
地域の活性化への取組

中小企業の経営支援に関する取組状況

中小企業の経営支援に関する取組方針

当金庫は「金融サービスを通じて地域との絆を育むこと」がコミュニティ・バンクの果たすべき重要な役割であると考え、お客様と地域社会、当金庫がともに栄えていく地域密着型金融を実践します。

お客様の資金需要にお応えし円滑な資金供給につとめるとともに、地域の皆様とのお付き合いを通じて蓄積されたノウハウやネットワークを活用したコンサルティング機能を発揮することにより、お取引先企業の経営改善や事業拡大を積極的に支援します。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

中小企業の経営力強化を目的に、平成24年に「中小企業経営力強化支援法」が施行されました。当金庫は、同法施行と同時に全店舗を「認定経営革新等支援機関」として登録し、地元中小企業の皆様と一体となった経営支援や再生支援に取り組んでいます。

創業・新規事業の支援 ～創業・開業のご相談は京信へ～

当金庫は、新たに事業を立ち上げる方や創業間もない方の支援を積極的に行っています。これまで、独自の創業支援融資「ここから、はじまる」の取扱のほか、「創業専用ホットライン」を通じて、起業家の皆様のスムーズな開業を支援してまいりました。その結果、平成28年度の創業支援融資実績は389件、662百万円となりました。

また、平成28年7月には、商工組合中央金庫と連携し、事業の多角化による新たな市場を開拓する事業者を応援するための融資商品として、第二創業・多角化サポートローン「セカンドウィング」の取扱を開始しました。

そのほか、創業間もないお取引先企業の成長支援を目的とした「京信・起業家成長サロン」を開催しています。

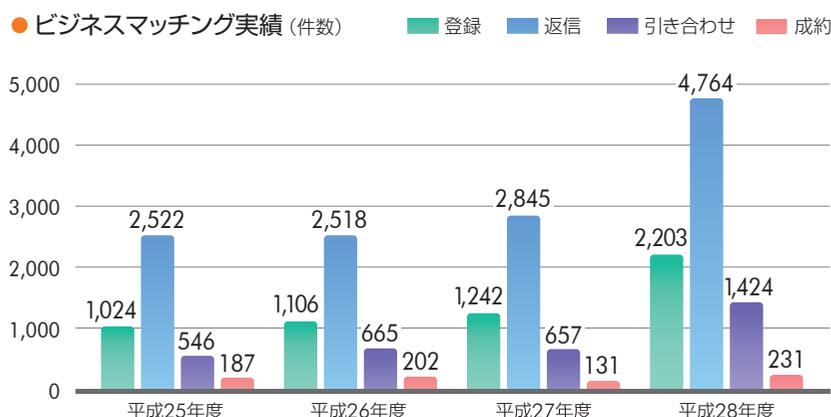


成長段階における支援

◎ ビジネスマッチングの推進

当金庫は、企業が抱える様々な課題の解決をサポートするため、お客様とお客様をつなぐビジネスマッチングを推進しています。

お客様からお聴きした悩みや課題を社内ネットワークである「ビジネスマッチング掲示板」で共有し、お客様同士の絆づくりの輪を広げています。



◎ バイヤーマッチング商談会の開催

当金庫では、京都、滋賀、大阪のお取引先等の魅力ある商品の販路拡大を目的に、「バイヤーマッチング商談会」を開催しています。第6回となる平成28年11月10日、11日の2日間には、大手百貨店、スーパー、通販会社などのバイヤー40社とサプライヤー165社にご参加いただきました。平成29年3月31日時点で、384件の商談のうち32件が成約し、現在も商談は継続中です。

今後も、お取引先企業の販路拡大をサポートしてまいります。



経営改善・事業再生等への支援

当金庫では、お取引先企業と当金庫が連携して事業の内容や成長の可能性などを追求し、企業のライフステージに発生する様々な問題の解決策を検討・提案し、必要な支援を行うことが重要と考え、専任の担当者を配置しています。

また、金融支援だけでなく、事業そのもののありかたをとともに考えたいという企業のニーズにお応えするため、個別のコンサルティングやセミナーの開催に取り組んでいます。

地域活性化への取組

地域の活性化に関する取組状況

◎京信・地域の起業家大賞

当金庫は平成25年度に創立90周年事業として、独創的・革新的な事業に取り組み、地域経済の活性化に貢献している起業家を顕彰する「京信・地域の起業家大賞」を創設しました。起業家大賞は事業の「独創性」・「収益性」・「成長性」・「社会性」に加え「地域貢献度」といった評価基準を設け、当金庫取引の有無にかかわらず、持続可能な社会の形成が期待されるビジネスプランに共感し、顕彰するコンテストです。

第4回となる平成28年度は応募総数72件の中から「最優秀賞」1件と「優秀賞」10件の受賞が決定し、平成29年3月2日には、受賞者によるプレゼンテーションを開催しました。



昨年に引き続き「第5回 京信・地域の起業家大賞」を募集しています。第4回の受賞者および第5回の応募要領については、当金庫ホームページをご覧ください。

[当金庫ホームページ]

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

また、この取組は、平成29年3月に開催された、環境省「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」の第6回定時総会において、平成28年度グッドプラクティスに選定されました。



持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則

持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針として策定されたもので、約250(平成29年1月1日現在)の金融機関が署名しています。

◎ 目利きスタジアム

当金庫は、職員の業界研究の一環として「目利きスタジアム」を開催しています。これは、発表者が自分の得意とする業界やトレンドを研究・発表し、聴講者の投票により「鉄人」(優勝者)を決める大会形式の研修で、多くの職員が参加しています。平成29年4月14日には、歴代の鉄人がそれぞれ得意とするテーマを発表し合う「鉄人大会」を開催しました。

発表者同士が切磋琢磨するだけでなく、聴講者も研究テーマに対する知見を広め、業務に必要な目利き力を養うことを目的としています。



◎ クラウドファンディングの推進

当金庫は、祇園祭を後世に伝えるため地域金融機関として、様々な取組をしています。毎年増加する山鉾巡行の警備費等の負担にお困りであった主催者に、当金庫がインターネットで出資者を募るクラウドファンディングを使った資金調達の仕組みを提案したところ、多数の出資者から応募がありました。

平成29年5月8日から募集を開始しましたが、当初の目標金額300万円を大きく上回り、6月30日現在で、1,000人以上の応援サポーターと1,200万円を超える資金が集まりました。



◎ 地方創生の取組

地方自治体が作成した「地方版総合戦略」の実効に向けた具体的事業に参画するために「京信・地方創生サポートデスク」を設置しています。また、地方創生に資する取組を行う事業者を対象に「地方創生サポートローン」を取り扱っています。

「地方版総合戦略」推進に向けた取り組み

金融機関が持つ知見に基づく情報提供・分析・提案等

「地方版創業戦略」に基づく戦略の遂行(実効)

金融機関が持つ知見を活かした機能を発揮する取組を実施

地域企業応援パッケージによる企業支援

- 地域資源を活用した事業化に関する取組(新ビジネスの創造・クラウドファンディングの普及等)
- 事業性評価に基づく融資の取組
- 再出発に向けた環境整備や事業承継支援の取組
- さまざまなライフステージにある企業の経営課題に向けた取組
- 企業・産業の持続可能性を高める取組
- 地域で活躍する人材確保のための取組